

科目名		授業形態	担当教員名	
視能検査学Ⅲ		講義・演習	畑中 深里・山本 雅美	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
60 時間（2 単位）		30 回	2 年次	前期
授業の目的・概要				
本科目では斜視・弱視を評価する上で重要な検査である。視能検査の原理と手技及び評価などについて基本的知識を理解することを目的とする。年齢や症例に応じた検査法の選択と他の検査法との比較と考察が行えるよう、具体症例を挙げて講義を進める。				
授業の到達目標				
各視能検査の意義と原理を説明することができる。 正しい検査手順で検査を行うことができる。 検査結果より評価及び考察が出来る。 年齢や症例に適した検査方法を選択し、他の検査法との比較と考察が出来る。				
授業計画				
回	内容			
1	立体視検査	16	眼球運動検査 演習②	
2	立体視検査 演習①	17	眼球運動検査 演習③	
3	立体視検査 演習②	18	眼球運動検査 演習④	
4	網膜対応検査①	19	演習課題 両眼視機能検査① 両眼視機能検査実技試験	
5	網膜対応検査②	20	演習課題 両眼視機能検査② 両眼視機能検査実技試験	
6	網膜対応検査 演習①	21	演習課題 両眼視機能検査③ 両眼視機能検査実技試験	
7	網膜対応検査 演習②	22	演習課題 両眼視機能検査④ 両眼視機能検査実技試験	
8	両眼視機能検査 まとめ	23	演習課題 両眼視機能検査⑤ 両眼視機能検査実技試験	
9	眼球運動検査 9方向むき眼位①	24	演習課題・両眼視機能検査実技試験 まとめ	
10	眼球運動検査 9方向むき眼位②	25	演習課題 眼球運動検査① 眼球運動検査実技試験	
11	眼球運動検査 Hess-Lancasterテスト①	26	演習課題 眼球運動検査② 眼球運動検査実技試験	
12	眼球運動検査 Hess-Lancasterテスト②	27	演習課題 眼球運動検査③ 眼球運動検査実技試験	
13	眼球運動検査 牽引試験 注視野	28	演習課題 眼球運動検査④ 眼球運動検査実技試験	
14	眼性頭位異常の検査	29	演習課題 眼球運動検査⑤ 眼球運動検査実技試験	
15	眼球運動検査 演習①	30	演習課題・眼球運動検査実技試験 まとめ	
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	60%			
レポート	10%	各実習につきレポート提出をし、理解度と考察力などを評価する		
小テスト				
平常点				
その他	30%	実技試験により習熟度を評価する		
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
視能学第2版	丸尾敏夫 他編		文光堂	
視能矯正学	丸尾敏夫 編		金原出版	
視能学エキスパート 視能訓練学	若山暁美 他		医学書院	
眼科検査ガイド 第2版	根木昭 監修		文光堂	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
なし				
自由記載				
備考				